



標津中学校のお姉さん達と秋を実感！

標津幼稚園

しべっ 議会だより

9 月定例会

第136号

平成22年11月1日

行政報告	交通事故死ゼロ 1000日達成!!… 2
補正予算	地デジ受信機助成、非課税の老人世帯… 3
一般質問	漁業と農業、地域循環型産業に… 4～6
町民の声	「回答編」ゴミ袋は、海の公園は… 8



金澤町長の行政報告

100歳以上の高齢者の調査など

基幹産業の状況

農業

牧草は、4月下旬からの低温や降雨の影響、5月の周期的な天候の変化により、その生育が心配されたが、採草期の6月中旬以降は日照時間にも恵まれ、6月後半の平均気温が高かったこと、比較的降水量が少なかったことから、牧草の生育は持ち直した。2番草も好天に恵まれ順調な収量で推移している。

4月から8月下旬までの5カ月間の生乳生産量は、昨年の長雨によるサイレージの質の低下や、今年8月は気温の高い日が続いたこともあって、前年同期との比較で97%となっている。今後の回復に期待している。

漁業

秋サケの漁模様は9月1日から13日までの状況は標準が58・8%の減



の241・1トン、根室管内全体で49・4%の減となっている。秋サケの漁模様の良し悪しについては、海水温の上昇との関係についてよく言われるが、標準沖、水深10mの海水温は、平均で20・2度で、過去3カ年の同時期の平均に比べ3・3度高い。秋サケの不漁とこれに伴う原料価格の高騰は、漁業者のみならず地元水産加工業や運送業などの関連産業にも影響を与え、経営を圧迫することになり、一日も早い回復が待たれている。

百歳以上の高齢者

百歳以上の高齢者が不

明になっている問題に關して本町においても調査を実施した。本町で住民基本台帳に登録している百歳以上の方は1名で、明治41年8月27日生れ（102歳）の女性で、現在標準病院に入院中であることが確認された。

毎年「老人の日記念事業」として百歳に達する高齢者に対し、祝状及び記念品の贈呈を行っているが、本町においては、根室振興局職員あるいは町職員が直接、該当者に手渡している。また、今回の調査に合わせ、90歳以上の住民台帳登録者を調査したところ、平成22年8月末現在、男性18名、女性49名であったが「介護サービスを受給しているか」「医療機関を受診しているか」などの方法で、いずれも生存、所在を確認している。一方先般、戸籍上生存している百歳以上の方が全国各地に多数存在しているとの報道があった。本町に住民登録はないが戸籍をお

いてある百歳以上の方は、8月末現在で37名の方がいることが判明したが、いずれも、年金の不正受給といった問題はない。今後国の関係機関に統一的な取り扱い方法の明示を求めるほか、法務局と協議の上、戸籍法に基づく職権削除を行うよう手続きを進めている。

交通事故死ゼロ 千日達成

平成19年12月から交通事故死ゼロが続いていたが8月30日に連続千日を達成した。

公式記録が残っている



地熱開発に着手

昭和50年以降で最長となつた9月1日、標準町交通安全協会、交通安全指導員協議会、川北地区女性安全クラブに感謝状を贈った。

今日の達成は、町内各団体、各機関をはじめ、多くの皆さんの理解と協力の賜物である。

ネドの地熱開発調査事業に応募し、6月30日に国内5カ所の調査地域の中に採択された。

現地では地表調査とカ動植物調査が行われ、来年度の本格的な掘削調査に向けた作業が進められている。

来年度に「ステップ2」と言われる次の段階への調査事業に進むことになるが、最大5年間の調査事業の確保につながる。

将来への希望や夢を実現するために、当調査事業に対する「町民の応援組織」の設立を進めることとする。

同意案件

○教育委員会委員

青山 信一

任期 平成22年10月1日～
平成26年9月30日

○人権擁護委員

濱向 傑

任期 法務大臣の委嘱の日
から3年間



道路整備に関する 意見書

〈提出者〉

文教福祉建設常任委員長

安達 護

森林・林業政策の 早急かつ確実な推 進に関する意見書

〈提出者〉

総務経済常任委員長

木下 孝

補正予算の主なもの

(単位：千円)

項 目	金 額	補正理由・事業内容
地熱開発促進事業	601	専門家検討会など
地上デジタル放送受信支援	2,813	非課税の老人世帯などの受信機購入助成
河川水質調査	519	9河川、12カ所
介護保険会計出線	628	ケアマネージャー退職に伴う育児雇用
農地制度実施化	1,166	農地法改正による調査、台帳システム改修など
いくらブランド強化	768	イベント出店など
地産地消費拡大	500	しべつマルシェのタベ
学校給食センター運営	473	空調機制御システム修理

平成21年度の決算を審査する 決算委員会を10月26日～11月1日に

委員長 小川 悠 治

副委員長 大垣 勇

各会計決算書

(単位：千円)

区 分	歳出総額	うち一般会計から
一 般 会 計	6,077,270	
特 別 会 計	国民健康保険	844,186
	介護保険(事業勘定)	54,816
	介護保険(サービス事業)	58,759
	老人保健	25,480
	後期高齢者医療	647
	簡易水道	98,690
	下水水道	59,960
	金山地域休養施設	190,962
計	サーモンパーク	420,097
		278,833
		22,358
		18,105
		75,374
		52,461

一般質問

Q

&

A

3人の議員が5項目にわたり町長に質問を行いました。

一事故が漁業と 関連産業を壊滅に

増殖事業一日で壊滅、 相互理解のなか対策急ぐ



小川悠治議員

Q 昨年、本年6月と糞尿流出事故が発生した。まだ、サクラマス幼魚がいる伊茶仁ふ化場に糞尿が流入し、幼魚池は糞尿臭と濁りで泡立っていた。水質検査の結果ふ化用水基準をはるかに超えて使用不可の状態だった。鮭稚魚放流後で難を免れたが、もし、1カ月前ければ、鮭漁業と関連産業に壊滅的打撃を与える恐れがあった。酪農と漁業の相互理解による事故防止体制構築が急務である。

A 近年特に河川の水質が悪化している。鮭マス

稚魚に対する影響を懸念する。万一不幸にも稚魚に影響する事故が発生したら取り返しがつかない。

その影響は、資源的にも時間的にも資源回復には長年かかり、再生産もおぼつかない。延々と築き上げてきた増殖事業が一日で壊れてしまう。未然防止も含め相互理解の中心で対策を進めたい。



川の環境保全は町の生命線

町・農協・漁協の 三者会議は画期的なこと

Q 町長自ら「標津町産業環境に関する三者会議」設置に努力した。業界は自己利益の主張だけにとられず、町も

単なる調停役ではなく、それぞれが町全体の代表としての見地に立ち、町民総理解の下、相互理解・相互協力による環境保全の道筋を構築願いたい。

A 三者会議は道内初で画期的なことである。対

立からは何も生まれない。漁業者側の対応を評価したい。相互理解・相互連携の中で今後の取り組みをしたい。

また、河川環境について中標津町とも協議を進

漁業と農業、 地域循環型産業に

資源循環型は重要、 財政出動も

Q 環境対策は、一方だけの負担とはならない。酪農糞尿やヒトデ等の栄養源を堆肥熟成に優れた焼成ホタテ貝を利用して土壌微生物で分解し、更に広範囲に有効活用するなど、地域循環型産業構造による自然浄化力の向上こそが最も有効的な改善策と思う。

A 対策には短期的・中長期的ものがある。資源循環型は最も有効と考える。物の循環のみならず、考え方も循環しながら真正面から取組みたい。微生物と土壌の関係は重要。ホタテ焼成貝の利用など、財政出動も含め対処したい。



大詰め ステップⅡ 町長の姿勢は

町民の声を真摯に 受け止め計画に当たる



安達 護議員

【意見】

※上から目線で町民を見ていないか。

※今一度強い町民目線の意識をもって計画に当ることが重要。

Q ステップⅡ（総合計画）が大詰めになり、最終段階に入ってきた。

この計画は標津町の行く末を決める最も大切なものです。

そこで町長の姿勢を改めて伺います。

Q1 役場あつての町民なのか、町民あつての行政なのか、ゆらいではいませんか。

A 町民が主人公であることは一点の揺るぎもない。町民目線に立って、自惚れ、奢り、甘え、まんなりを自省し議員と一つになって作製していく。

Q2 基幹産業は国の基本法があるから国頼り、町政はごく限られたものになると思いませんか。

A 食糧安全保障の観点から基本法が作られている。農村、漁村の安定化や経済の構築のため策定されている。

一昨年からの国の経済対策交付金を使って草地の簡易更新機やミルクローリー、ヘルパーへの助成など。漁業は購買り機や魚の三板おろし機など、基幹産業の一つとして助成してきた。ここまでやっている町、村はないと思う。



【意見】

※基本法がガイドラインとしてあって国の制度（法律）と国の政策を取り入れなければ形にならない。

※本町農業の所得を国に委ねる農業基本方針（22年度はよかつたのか）

※家畜糞尿問題は認識の問題より構造的問題を解決しなければ難しい皆さんで知恵を出すべき。

※農地の集積事業など選

れている。的確に行っていないと問題解決にならない。（糞尿問題）

Q3 議会や委員会、議員会の意見などをどのように受け止め町政に反映しようとしているのか。

A 町民を代表する議員の意見は真摯に町政に反映させて載っている。議員の意見は質問管理が出来るかも含め、真正面から対応していきたい。

【意見】

※海の公園など議員の意

見が反映されていない。相当吟味すべきであった。

Q4 行政の良し悪しはその町の分析能力で決まるといわれます。過去や現在の把握をどのような手段で行われているのか。

A 経緯や現状、問題点をとらえ政策に反映していくのは基本中の基本。ステップⅡもこの手法を念頭に行っていく。

町の歴史や生い立ちの記憶が薄れてきてはいないか危惧している。

町民とのコミュニケーションが少く歴史をつなぐ、記憶をつなぐために職員には地域に出向けと話している。

【意見】

※数字で見えないものや見えにくい物は現場に足をはこんで声を聞くことが重要。

※町の施策は入口が政策で、出口が対策づくり。是非良い政策づくりに奔走していただくことを強く要請します。

障がい者の生活 拠点づくりは

課題としているが
容易ではない



吉田浩一議員

Q 障がいを持つ人も高齢者や子供も、すべての人が同じように社会の一員として生き生きと生活できる自然体の地域社会をめざすのが本町の福祉政策の基本であると考えます。

平成18年に立ち上げた共同作業所は、それまでひきこもりがちな障がい者にとって生きがいづくりの場となりました。

しかしながら、自立に向けた生活環境はまだ途上にあるといえます。就労環境や生活の拠点づくりの支援が必要です。

グループホームやケアホームの立ち上げなどこれらの課題にどう取り組まれていますか。

今年の11月に他県からの障がい者自立更生施設が廃止になると聞いていますが、町はどのような対応を考えていますか。

農地を含む20ヘクタールの用地、個室で18人は居住できる宿泊施設、ログハウス、51℃の温泉、温泉熱を利用した大型の温室、その温室で市内の街路の花だん6,000ポットが栽培されています。

活用していく考えはありますか。

A 障がい者を含む全ての人が自然体で生活できる地域社会をめざすのが自治体の責務だと思っています。



ナスの受粉作業 キラリ工房

本町の障がい者福祉計画の理念として重要なことは障がい者を地域社会から差別化や疎外化、そして孤立化させないことが第一と考えています。

そのような中で共同作業所「キラリ工房」が立ち上がり、4年を経過し

ました。

生きがいを持ち、自立に向けた生活支援の充実を図るため就労訓練や生産物のさまざまな模索の中で現在、にんにく作りに挑戦しています。

就労環境や生活の拠点は課題ではありますが、グ

ループホームの立ち上げも人的配置や障がい者の負担などの費用を考えますと、容易な状況とはいえません。

崎無異の障がい者施設の利用については多額の買い取り費用など課題が多いと考えています。

障がい者福祉政策は国策であり、動向を見極めながら検討します。

Q 町としての自立をめざす柱の一つに福祉型社会は重要な基盤であると考えます。

また、福祉産業という考え方もあります。多くの町民が福祉と関り合っていくことが私の願いです。

A 私の基本とするところも福祉のネットワークづくりです。言われるように産業としての福祉は伸びる可能性を持っています。

今、本町にとっても人的資源の活用と活性化が求められています。財政のこともありますが慎重に対処していきます。

議員の出欠状況

(平成21年度)

出席……○
欠席……×
公務……公

【定例会】 議員11人

年月日	氏名 議会名	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
21. 6. 8	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 9. 10	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 12. 15	第4回定例会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
22. 3. 11	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. 3. 12		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. 3. 18		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

【議会運営委員会】 委員5人

年月日	竹野	小川	田中	木下	安達
21. 5. 22	○	○	○	○	○
21. 6. 3	○	○	公	○	○
21. 9. 3	○	○	○	○	○
21. 12. 8	○	○	○	○	○
21. 3. 5	○	○	○	○	○

【臨時会】 議員11人

年月日	氏名 議会名	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
21. 4. 2	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 5. 22	第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 7. 7	第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 11. 27	第5回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. 1. 18	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. 2. 22	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】 委員9人

年月日	大垣	神内	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中
21. 9. 10	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 10. 27	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 10. 28	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 10. 29	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 10. 30	○	○	○	×	○	○	○	○	○

【全員協議会】 議員数11人

年月日	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中	片岡
21. 4. 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 6. 8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 7. 3	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 7. 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21. 9. 10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
21. 11. 27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】 委員10人

年月日	大垣	神内	藤巻	小川	木下	安達	千葉	吉田	竹野	田中
22. 3. 15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. 3. 16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. 3. 17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22. 3. 18	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

【総務経済常任委員会】 委員5人

年月日	木下	千葉	吉田	大垣	神内
21. 5. 22	○	○	○	×	○
21. 5. 29	○	○	○	○	○
21. 6. 17	○	○	○	○	○
21. 8. 10	○	○	○	○	○
21. 8. 27	○	○	○	○	○
21. 8. 28	○	○	○	○	○
21. 9. 3	○	○	○	○	○
21. 9. 10	○	○	○	○	○
21. 9. 17	○	×	○	○	○
21. 9. 24	○	○	○	○	○
21. 10. 29	○	○	○	○	○
21. 11. 17	○	○	○	○	○
21. 11. 27	○	○	○	○	○
21. 12. 8	○	○	○	○	○
22. 1. 15	○	○	○	○	○
22. 2. 22	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】 委員5人

年月日	小川	藤巻	木下	吉田	竹野
21. 4. 22	○	○	○	○	○
年月日	安達	藤巻	田中	竹野	小川
21. 5. 22	○	○	○	○	○
21. 5. 29	○	○	○	○	×
21. 8. 10	○	○	×	○	○
21. 9. 3	○	○	○	○	○
21. 9. 17	○	○	○	○	○
21. 11. 13	○	○	○	○	○
21. 12. 8	○	○	×	○	○
22. 1. 15	○	○	○	○	○
22. 2. 22	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】 委員4人

年月日	吉田	小川	大垣	安達
21. 4. 13	○	○	○	○
21. 4. 21	○	○	○	○
21. 6. 8	○	○	○	○
21. 7. 14	○	○	○	○
21. 7. 21	○	○	○	○
21. 9. 10	○	○	○	○
21. 10. 13	○	○	○	○
21. 10. 22	○	○	○	○
21. 12. 15	○	×	×	○
22. 1. 15	○	○	○	○
22. 1. 21	○	○	○	○
22. 3. 12	○	○	○	○

雇用の確保と待遇改善

役場も正職員を減らして臨時職員で補い人件費を減らすというが、正職員と同じように職務をこなしている臨時職員も少なくない。別海町などでは、臨時職員でも月給制であり、年1回の期末手当もある。

臨時職員も生活がかかっている。副職を禁止しているのなら、せめてそのくらいの待遇改善はしてほしい。また、標津高校新卒者から年1名以上は正職員を採用してほしい。働く場所がなく、待遇も悪ければ、他町へ出てしまうのは当然ではないだろうか。役場全体の意識向上も

町民の声

低くなる（もっと向上意識を持てるような職場環境を！）

公営住宅の改善

入居の際の条件緩和。他町から来るのに、当町内在住の保証人2人は無理である。その上、新しい建物は順番待ちで、そのほかは老朽化が目立つ建物ばかり。隙間風や傾斜、結露やカビがひどくそんな建物でも収入で家賃が決められ、建物と収入に見合った金額の家賃とはいえないところが多々ある。公営住宅が足りないのであれば、空いている職員住宅も賃貸してはどうか。

（40代女性）

「ゴミ袋の販売枚数を一枚単位にできないのか」

町から取扱店への引渡しは、数十枚から数百枚単位であるため、効率を考えて10枚1セットで用意しています。販売枚数に決まりはなく、販売店によって異なります。販売店に確認すると、10枚単位の

回答編

「疑問の多い、海の公園！ 議会は何かエックできなかった」

「海の公園」用地の大半は道有地で、一部を町有地として交流ハウスが建てられました。

もともとは「道の駅」構想もありましたが具現化されませんでした。平成21年1月に町内各団体の町民13人による「海の公園活性化運営委員会」が組織され、検討を重ねる中で同年12月に整備計画や予算の考え方が町側から示され、議会としては交流ハウスの構造、トイレとの位置関係、各施設の配置、予算の圧縮など再検討が必要ということになりました。

平成22年1月、議会側の意見などをもとに再検討された整備計画や予算が再度示され、異論

もありましたが了承されました。

交流ハウスは3、300万円で建てられ、当初計画のDHハウスから木造に変わりました。

景観や安らぎを重視したものです。トイレとの距離は35mとなっています。交流ハウス・物置以外のトイレなどの施設は道が整備したものです。公園内のどの位置からもトイレが分かり易くする必要があります。また磯遊びの監視は巡回という形で行われ、利用者のいる時は数回にわたって実施されます。

全体予算額は4、600万円で国の臨時財政交付金を財源としています。

一般町民の利用のほか、エコツーリズムなどの観光事業に利用されています。

編集室



国は地方自治体の財政悪化状況を示す財政4指標を発表した。標津町の実質公債比率（収入に対する借金返済額・基準25%）では14・5%で道内179市町村中99位（上位ほど悪化）、将来負担比率（借金残高が財政規模の何倍を示す・基準350%）では37・8%で道内133位と現段階での健全財政を示している。過去の、町政施策の表れでもある。今後、身の丈に合った財政運営が求められる。一方、都道府県で見ると北海道の両指標は最悪と言われ、早期健全化団体指定の恐れが視野に入る状況だ。町への影響も懸念される。

（小川修治）

議長	片岡 博司
広報特別委員会	
委員長	吉田 浩一
副委員長	小川 悠治
委員	安達 護
委員	大垣 勇